MORIMO：水源地の保全×地域材の活用

状況・課題の変化／時間軸

・市民の森林資源の認知度が低い
・整備しても地域材が活用されない
・森林ビジョンの策定

・協働取組加速化事業
・加工所設立
・森とつながるフォーラム相模原設立

水源地の保全

6.6

森林整備

15.2

商品のストーリーとあわせた環境教育

4.7

森林整備

15.2

地域材を活用した商品の開発

12.2

地域材活用に向けたサプライチェーン構築

12.2

9.4

ステークホルダーと協働した環境教育

17.17

森林整備

15.2

12.8

6.6

4.7

机の天板を市の教育のシンボルに

「津久井ブランド」の開発

8.3

・環境教育のコンテンツと合わせた商品提供は有効！
・商品を作るキャパシティが足りない
・地域内で循環しないと意味がない

・雇用することにより、責任が生まれた。
・技術の継承が必要。
・どうやってお金を稼ぐかを考えないといけない。
・商品のデザインを良くして、価値を高めないといけない。
・水源地の保全というミッションを忘れない。

気付き・学び

ⓒEPC